

群馬県生活安心いきいきプラン[2021-2025]進捗管理シート(総括票)

◎評価基準	→	A(目標達成)	:実績が目標を上回っている
		B(前進)	:現状(策定時)よりも実績が良くなっている
		C(横ばい)	:現状(策定時)と実績が同等である
		D(後退)	:現状(策定時)よりも実績が悪くなっている
		その他	:評価ができないもの(実績値が不明など)

※指標がないものは、別掲の個票に記載する取組実績を踏まえて評価を実施する。

☆基本方針Ⅰ 一人ひとりを尊重する

⇒ 総括評価

B(前進)

施策目標	結果を示す指標	単位	現状①	目標②	R6実績③ 進捗率④	進捗評価	今後の展開 (評価の結果をどう活かすか)	担当課
1	基本的な権利が守られていると思う人の割合	%	67.2 (H22年度)	75.0 (R7年度)	— —	B(前進)	創意工夫を凝らし、引き続き人権啓発活動や各種相談窓口を運営する。「第2次人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」に基づき、社会情勢に合わせた啓発事業を推進する。	生活こども課
2	男女の地位の平等感(社会全体)	%	17.4 (R1年度)	35.0 (R7年度)	17.5 0.6%	C(横ばい)	県民意識調査の結果に基づき、現基本計画の検証及び次期計画(R8～R12年度)における施策の検討を行う。男女共同参画社会の実現に向けて、引き続き、講座や情報発信など、意識啓発に取り組む。	生活こども課
3	県の審議会等への女性の参画率	%	38.1 (R2年度)	45.0 (R7年度)	43.2 73.9%	B(前進)	さらに前進させるため、取組を継続する。更新予定である女性人材データベースの周知、各審議会改選時の依頼を徹底する。	生活こども課
4	再犯防止推進計画を策定した県内市町村の数	市町村	1 (R1年度)	18 (R7年度)	27 152.9%	A(目標達成)	引き続き関係機関と連携し、未策定の市町村に再犯防止計画策定の必要性を説明し、計画策定を推進する。ネットワーク会議を運営し、関係機関の連携を強化するとともに、県民向けの啓発事業を実施する。	地域福祉課

☆基本方針Ⅱ 一人ひとりの活動を支える

⇒ 総括評価

A(目標達成)

施策目標	結果を示す指標	単位	現状①	目標②	R6実績③ 進捗率④	進捗評価	今後の展開 (評価の結果をどう活かすか)	担当課
5	群馬県とNPO法人等民間団体との協働件数	件	140 (R1年度)	400 (R7年度)	543 155.0%	A(目標達成)	引き続き、協働の理解を深めるためのセミナー等、協働・共創を推進するための施策を実施し、NPO法人等との協働を増やすことにより、様々な主体が協働・共創する社会の実現を目指す。	県民活動支援・広聴課
6	大学でエシカル消費をテーマに公開講座を実施するとともに、親子科学教室や関連イベント出展を通じて、エシカル消費の認知度を高めることに寄与した。					B(前進)	大学と連携してエシカル消費をテーマに公開講座を実施するとともに、親子科学教室の開催、関連イベント出展により、エシカル消費について更なる周知啓発を図る。	消費生活課

☆基本方針Ⅲ 一人ひとりを被害から守る

⇒ 総括評価

B(前進)

施策 目標	結果を示す指標	単位	現状(①)	目標(②)	R6実績(③) 進捗率(※)	進捗評価	今後の展開 (評価の結果をどう活かすか)	担当課
7	消費者トラブルに遭った人の割合	%	10.9 (R1年度)	10.0以下 (R7年度)	— —	B(前進)	継続して消費者啓発や相談業務の強化に向けた事業を行う。 若者の相談状況を把握し、適時・的確に、啓発や情報発信を行っていく、また、「ぐんま版消費者教育教材」の活用については、校長会や教員研修会を直接訪問しPRを行う。 高齢者による相談は、依然として増加傾向にあり、全体の約4割を占める状況を鑑み、高齢者の被害防止に向けた普及啓発を行っていく。	消費生活課
8	各種出前講座や県民防犯運動などイベントの開催等を通じて、地域防犯力の向上に寄与した。					B(前進)	引き続き、防犯意識の習得及び防犯意識の向上に向けた事業を実施していく。特殊詐欺被害防止については、電話対策装置の普及促進を中心として実効的な啓発事業を進めていく。	消費生活課
9	犯罪被害者等を対象とした支援条例を策定した市町村の数	市町村	1 (R1年度)	12 (R7年度)	35 309.1%	A(目標達成)	各種の啓発活動を行うほか、被害者に対する多機関・機関内ワンストップ支援体制の充実を進めていく。	生活こども課
10	配偶者暴力相談支援センター数(県・市町村合計)	か所	7 (R2年度)	12 (R7年度)	9 40.0%	B(前進)	配偶者暴力相談支援センターについて、積極的に男女共同参画を推進している市町村を中心に、設置を促す。	生活こども課

進捗率(※)・・・(実績－現状)／(目標－現状) ((③－①)／(②－①))